

授業科目 生理学

【担当教員名】 生駒 俊和		対象学年	1	対象学科	臨床
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	3	時間数	45
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	○				
【一般目標：G10】 人体がいかに巧妙な仕組みで働いているかを理解し、生理学の基礎的な知識を習得する。 生理学的用語を理解し、生体の生命現象と活動の仕組みを習得する。					
【学習目標】 1. 生体の恒常性について説明する。 2. 体液と循環機能について説明する。 3. 呼吸機能について説明する。 4. 消化と吸収について説明する。 5. 代謝および栄養について説明する。 6. 尿の生成と排泄について説明する。 7. 体温の調節について説明する。 8. 内分泌臓器とホルモンの作用について説明する。 9. 神経組織とシナプスの機能について説明する。 10. 末梢神経と中枢神経の機能について説明する。 11. 感覚系の機能について説明する。 12. 筋組織の生理学的特徴について説明する。					
回数	授業計画・学習の主題	SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員		
1	生理学について、体液	1	講義		
2	血液、細胞の機能	2	講義		
3	循環器系 1 心臓の機能	2	講義		
4	循環器系 2 血管の機能	2	講義		
5	呼吸器系 1 呼吸器の作用	3	講義		
6	呼吸器系 2 呼吸調節	6	講義		
7	消化と吸収 1 消化	4	講義		
8	消化と吸収 2 吸収	4	講義		
9	代謝および栄養 体温とその調節	5, 7	講義		
10	尿の生成と排泄 1 腎小体の機能	6	講義		
11	尿の生成と排泄 2 尿細管の機能	6	講義		
12	内分泌 1 内分泌器官と調節	8	講義		
13	内分泌 2 内分泌臓器とホルモンの作用 1	8	講義		
14	内分泌 3 内分泌臓器とホルモンの作用 2	8	講義		
15	神経生理の基礎、神経組織について	9	講義		
16	神経組織の機能とシナプスの機能	9	講義		
17	末梢神経系	10	講義		
18	中枢神経 1	10	講義		
19	中枢神経 2	10	講義		
20	感覚機能	11	講義		
21	内臓感覚と特殊感覚 1	11	講義		
22	特殊感覚 2	11	講義		
23	筋組織の生理学的特徴	12	講義		
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>	
教科書 (必ず購入する書籍)	人体の構造と機能 (第3版)	佐藤昭夫、佐伯由香、原田玲子編集	医歯薬出版	2013・2,800円＋税	
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 講義中に実施する小試験 (30%) 小試験は追試験、再試験の評価にも適用する。講義欠席の場合は小試験は0点とする。 定期試験 (70%)		【履修上の留意点】 医療技術者を目指す人にとっては、重要な基礎科目である。予習、復習しっかりと行ってください。特に復習が大切で不明な点は素早く解決することが大切です。質問は歓迎します。今後の専門科目の授業に役立つ内容です。			